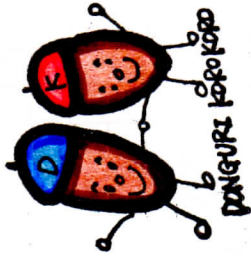


# とんぐり ぽんぐり



NO. 2

2012. 6. 16発行  
福島恭子・大森志穂

<今号の記事>

- 外遊びで...
- 歌
- でんぐりがえり
- 友達と...
- 誕生日おめでとう

5月は、とんぐりもちよく歩けたように思います。道端の植物の緑や空気のせいではうかが？、花も色とりどり、小さな生きもの様子も、ほんとうによく見えました。鳥の声もよく聞こえました。街路樹のハゲズキとツツジが同時に咲いている時には、歩道に立つと、真ん中セウクの道が続いて、子どもたちと「ヒョクだね。」と何だかウケウキしていました。自然の様子も子どもたちも生ま生ま、活動的な5月でした。

## 外遊びで、想像力や集中力、そして...

5月は、虫の動きがほんとうによく見えたのです。偶然出会ったり、保育者の発見をきっかけに、自分で探すようになった子もいます。

「じつとしゃがんで地面を見つめて待つ」子もいれば、保育者が見つけた場所へ素早くやってくる子もいます。

ダンゴムシやアリが、最も親しみあえてよく見ている虫ですが、「これ、小さい。こちらは大きい。」「お父さんか。こら赤ちゃん。」「いち、に、え、いるね。」と、

虫の姿形や動きを見るだけでなく、いろいろなことと関係したり考えたり、確かめたりしています。そして、

捕える時には、集中して虫の動きを目で追いかけるから、指先でつまむことができないと、逃げられてしまします。

四月には、ス、ス、ス、ス、五月の間に虫を捕えられる子が増えました。

五月は草花の種類も豊富でした。黄色、ピンク、白、オレンジ、紫、水色等、様々な色とも出会うことができました。

## 歌う

いい気分です歩いているせいでしょう。子どもが突然、歌い出すことが度々ありました。

- アメの主題歌、童謡
- 自作の歌 等々

鼻歌のように、太き高な歌い方もそれぞれです。舌を舌を見つけた時は、「ななななな、ハトと見たら、ぽぽぽ...」のように、時々、保育者のリードで歌うこともあります。

## 「でんぐりがえり」

とても簡単に回ってしまう子、手助けの必要な子、友達の様子を見ながら、数回かかてやってみる気になります。「一人ひとりの様子に合わせて挑戦しました。回った直後の表情に、気持ちが表れているように思います。(セウ、とんぐり...)」

5月は、でんぐりがえりの他に、「まーいどん」のかけあひかけのこともたくさんしました。持続時間が長くなったことを実感しています。

それと、しゃがむ動作についても意識的に見ました。道端で何かを見たり、砂あそびをしたり等、小さい人しゃがむ動作は多いです。

## 友達と...

・保育者とだれかが、いると、そこにス、ス...と子どもがやってくる。見つけたアリの穴と一緒に見つめる。

・「まて、まて、まて」と保育者が一人の子と相手にふりかけ、しているといつまでも追われている子がス、ス、スと増えている。「お化けだぞう」と保育者と追いかける子も。

・それぞれですべり台を繰り返して滑っていたのが、「ガソリン」が、あませうん」と一人が止まり、もう一人が「ガソリン」と言ってガソリンを入れるまねをしたかと思うと、最初の人が動き出すことと互いにし合ふ。

等々、いつしか、二人、三人...と友達と一緒に遊んでいます。一人一人の遊びで友達の存在は感じていなくても、「友達と交わり方、まあい方」、今は、えな感じは、

「どうぞ、ありがとう」と言ってお物やりとりしたり、「手、つなごう」と言われて友達と手をつなぐことができたり、えな関わり方も見られます。

## 誕生日おめでとう。

五月二十四日、三歳になりました。 四月から、「もうすぐ三歳」と三歳になるのを楽しみにしていたゆうや君。友達の前に座った時は、なると恥ずかしそうでした。